## LINEEŸE

# <sup>ネットワークテスター</sup> LE-580FX MPT ユーザーマニュアル

## はじめに

このたびは LE シリーズをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくご利用 いただくために、このユーザーマニュアルをお役立てください。なお、このユーザーマニュアル と保証書は、必ず保管してください。万一使用中にわからないことや具合の悪いことが起きた時、 きっとお役に立ちます。

#### ご注意

- ●本書の内容の全部または一部を無断で転載あるいは複製することは、法令で別段の定めがあるほか、禁じられています。
- 本書の内容および製品仕様について、改良などのため将来予告なく変更することがあります。
- ●本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一記載漏れや誤り、理解しにくい内容など、 お気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願い致します。
- 本機を使用したことによるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、一切のその責任を負いかねます。
   また、本製品を使用中にデータなどが消失した場合や、記録したデータが壊れていた場合でも、データなどの保証は一切いたしかねますのであらかじめご了承ください。

#### 使用限定について

本製品は計測機器として使用されることを目的に、開発製造されたものです。原子力設備や機器、航空宇宙 機器、医療機器、輸送設備や機器など故障や誤動作が人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必 要とする設備や機器と組み合わせて使用されることは意図されておらず、また保証していません。このような 用途で使用される場合は、お客様の責任においてフェールセーフなどの安全対策へのご配慮をいただくととも に当社営業担当者までご相談ください。

Copyright 2010 by LINEEYE CO., LTD. All rights reserved.

《第一版 2010.Mar》

## 

#### 必ずお読みください!!

この「安全のためのご注意」には、対象製品をお使いになる方や、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全 に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

ご使用の前に、次の内容(表示・図記号)を理解し、記載事項をお守りいただき正しくお使いください。 〔表示の説明(安全注意事項のランク)〕



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

誤った取り扱いをすると、人が傷害 \*1 を負うまたは物的損害 \*2 が発生する可能性が想定される 内容を示します。

- \*1:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- \*2:物的損傷とは、家屋、建築物、家具、装置機器、家畜、ペットにかかわる拡大損傷をさします。



故障やケガの原因となります。

#### 使用許諾契約書

著作権について

株式会社ラインアイ(以下、弊社)が提供するLE-580FX 用の本ソフトウェア(以下、本本ソフトウェア) ならびに、この取扱説明書(以下、本書)の著作権は、弊社に帰属します。

免責事項

本書に掲載される情報は、事前の予告なしに改変されることがあります。尚、弊社は理由の如 何に関わらず、情報の変更によって生ずるいかなる損害についても責任を負いません。

無保証

本本ソフトウェアの一切(全ての構成部分、媒体、マニュアル(本書)などの関連書類、電 子文書を含みます)は、何等保証もない現状有姿のままで提供されるものであり、お客様は 本本ソフトウェアをご自身の責任において使用するものとします。弊社は、本本ソフトウェアに エラー、バグ等の不具合がないこと、または本本ソフトウェアが中断なく稼動すること、本本ソ フトウェアが知的財産を含む第三者の権利を侵害しないこと、商品性を有することまたはお客様 の目的に適合することを含め、本本ソフトウェアに関して、明示であると黙示であるとを問わず 何等の保証をいたしません。

一般事項

本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となった場合は、かかる部分は本 契約から削除されるものとします。

#### その他

別段に定めのない事項については、著作権法および関連法規に準拠するものとします。

Copyright © 2008 Lineeye Co., Ltd. All Rights Reserved. E-mail: info@lineeye.co.jp Web: http://www.lineeye.com Fax: 075-693-0163

## 株式会社 ラインアイ

1.ご使用の前に	1
1.1 仕様	1
1.2 LE-580FX MPT の機能	2
2. ソフトウエアのインストールとアンインストール	3
2.1 LE-580FX MPT のインストール	3
2.2 LE-580FX MPT のアンインストール	4
<ol> <li>メインウィンドウ</li> </ol>	5
3.1 メニューについて	5
3.2 表示について	6
3.2.1 テスト結果の表示(Result Status)	6
3.2.2 操作ボタン	7
3.2.3 テストモデル名の設定	7
3.2.4 タスクの設定	8
3.2.5 時間表示	8
3.2.6 繰り返し回数	8
3.2.7 メモ	9
3.2.8 カウンター表示	9
3.2.9 タスク表示	10
3.2.10 LED パネル	10
4. 機能設定	11
4.1 テストモデルの新規設定	11
4.1.1 テスト条件の設定(Configuration Setup)	11
4.1.2 タスク設定(Task Setting)	12
4.1.4 環境設定(Environment Setting)	19
4.2 テストモデル設定の読み込み	21
4.3 テストモデル設定の変更	22
4.4 データの閲覧(View)	23
5. タスクの実行	

## 目次

#### 1.ご使用の前に

LE-580FX MPT は、LE-580FX デバイスを組み合わせて、正確で効率的なイーサネットテスト を一括で実行しす。LE-580FX MPT には、多様なパケットの送受信テストが、あらかじめ用意 されています。LE-580FX MPT では、設定したテストを保存し、後で読み込んで活用できます。 テスト結果のデータは分かりやすく表示されます。テスト過程のログデータは詳細に表示されま す。LE-580FX MPT は、LE-580FX デバイスを強力かつ効果的に活用するツールです。

#### 1.1 仕様

項目	説明
ハードウエア	LE-580FX
対応OS	Windows 2000 、Windows XP 、Windows Vista
各種テスト	パケット送受信 (Tx/Rx のテスト)、フロー制御、ブロードキャ
	スト、フィルター、CRCエラー、ピング
レポートフォーム	テキストフォームでのテストレポート
設定方法	テキストファイルと GUI 形式

#### 1.2 LE-580FX MPT の機能

LE-580FX MPT のテスト機能は、パケット送受信、フロー制御、ブロードキャスト、フィルター、 CRCエラー、ピングテストです。

テスト名	テスト項目
	FW_10H (10Mbps、半 2 重通信 )
	FW_10F (10Mbps、全 2 重通信 )
送受信テスト	FW_100H (100Mbps、半 2 重通信 )
	FW_100F (100Mbps、全 2 重通信 )
	FC_10F_100F (10Mbps、全 2 重通信 ↔ 100Mbps、全 2 重通信)
フロー制御テスト 	FC_100F_10F (100Mbps、全 2 重通信 ↔ 10Mbps、全 2 重通信)
	BC_10H (10Mbps、半 2 重通信 )
	BC_10F (10Mbps、全 2 重通信 )
	BC_100H (100Mbps、半 2 重通信 )
	BC_100F (100Mbps、全 2 重通信 )
	FT_10H (10Mbps、半 2 重通信 )
	FT_10F (10Mbps、全 2 重通信 )
	FT_100H (100Mbps、半 2 重通信 )
	FT_100F (100Mbps、全 2 重通信 )
	CRC_10H (10Mbps、半 2 重通信 )
	CRC_10F (10Mbps、全 2 重通信 )
CRCIJ-FAF	CRC_100H (100Mbps、半 2 重通信 )
	CRC_100F (100Mbps、全 2 重通信 )
ピングテスト	$Ping\;(A\toB)$
	$Ping\;(B\toA)$
	$Ping\;(A\toN)$
	$Ping\;(B\toN)$

### 2. ソフトウエアのインストールとアンインストール

#### 2.1 LE-580FX MPT のインストール

付属 CD にある「LE-580FX\_MPT.exe」を実行します

🛃 LE-580FX MPT - Insta	IIIShield Wizard	@ LE-580FX MPT - InstallShield Wizard
2	Welcome to the InstallShield Wizard for LE-580FX MPT	License Agreement Please read the following license agreement carefully.
	The InstallShield(R) Wizard will install LE-580FX MPT on your computer. To continue, dick Next.	End User License Agreement
3	WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties.	This is a license agreement between you (either an individual or a single entity) and Lineeye Co., LTD. ("Lineeye"). Before installing or using this software, please read the following terms and conditions carefully. By installing or using this software, you will be deemed to accept this license agreement. Do not install or use this software if you do not accept or agree with these license terms.
	< Back Next > Cancel	<pre>cmstaibned</pre>
LE-580FX MP <sup>-</sup> 「Next」をクリッ	T のインストールを始めます クし、インストールを続けます	- 。 ライセンス契約をお読みいただき、ご了承い ただける場合は、「I accept the terms in the o license agreement」をチェックし、「Next」をク リックします。
LE-580FX MPT - Insta Customer Information Please enter your information	IlShield Wizard	I <sup>™</sup> <sub>2</sub> LE-580FX MPT - InstallShield Wizard           Destination Folder           Cick Next to install to this folder, or click Change to install to a different folder.
User Name: user		Instal LE-SBOFX MPT to: C:WProgram FilesWineeyeVLE-SBOFXV Change
Croanization: InstalSheld ユーザーの名前	Cancel 」と所属機関を入力して「Nex	LinstaliSited <u> </u>
をクリック  キオ		





2.2 LE-580FX MPT のアンインストール

LE-580FX MPT が正しく動作しないときは、一度アンインストールしてから再インストールする必 要がある場合もあります。また、LE-580FX MPT の新しいバージョンをインストールする場合も、 先に古いバージョンをアンインストールします。

アンインストールの方法は2つです。スタートメニューもしくはコントロールパネルから実行します。 ・スタートメニュー:スタートメニュー → すべてのプログラム → Lineeye → LE-580FX MPT → Uninstall LE-580FX MPT

・コントロールパネル:コントロールパネル → プログラムの追加と削除→ LE-580FX MPT
 → 削除

## 3. メインウィンドウ

メインウィンドウは以下のように表示されます。メインウィンドウのツールバーにあるのは、 Setting、View、Helpです。

LE-580FX MPT					
Settina View Help					
Cline Even Pass Franc Escee Franc Escee Franc Esceet Error Franc Esceet with Error Franc Esceed with Error	Configurations of Tesk	Time Clock :15:28:12 Start : Finish : Total :	Iteration Setting       Total:       1       Loop:       Pass:       Fail:	C Reload	a a
Counter Window PatA Post Is	P 58 59	at End	Tredied Renat.	Taits Port Por	IA Port 8

### 3.1 メニューについて

"Setting"メニューには、以下の項目があります。

項目	用途
Modify Model	現在行おうとしているテストモデルの設定内容を変更します。
New Model	新たにテストモデルを設定します。
Exit	LE-580FX MPT を終了します。

"View" メニューでは、以下の項目を選択できます。

項目	用途		
Show Current Log	直近で実施したテストのログファイルを開きます。		
Show Current Config	現在行おうとしているテストモデルについて、詳細な設定値をテキスト		
	表示します。		
Show Current Folder	テストモデルを保存したファイルが格納されているフォルダを、開きま		
	す。		
Show LE-580FX	LE-580FX device informations 🔀		
Information	Code version: v1.7		
	LE-580FX デバイスのファームウエアのバージョンを表示します。		

"Help Menu"メニューには、以下の項目があります。

項目	用途		
Read Me	設定に関する説明ファイルを開きます。		
About LE-580FX MPT	About LE-580FX MPT		
	LE-580FX MPT v1.2b001 (2009/12/29) Copyright (C) 2010 LINEEYE CO., LTD. All rights reserved. http://www.lineeye.co.jp info@lineeye.co.jp		
	LE-580FX MPT のバージョンを表示します。		

## 3.2 表示について

#### 3.2.1 テスト結果の表示 (Result Status)

メインウィンドウの"Result Status"で表示される LED のカラー表示は、以下のようなメッセージになります。

項目	説明
0	テスト合格
•	パケット損失
9	パケット過多
0	受信エラー:CRCエラー、チェックサムエラー、アライメントエラー、ドリブルエラー、 オーバーサイズエラー、アンダーサイズエラー
	パケット損失と受信エラー
	パケット過多と受信エラー

3.2.2 操作ボタン

メインウィンドウのコントロールボタンは以下の通りです。

項目	説明
🛱 Open	保存してあるテストモデルのファイルを開きます。DUT(試験対象となる
	機器)に合わせて設定を用意することができます。
C Reload	テストモデルの設定を変更した場合、設定値を改めて反映させます。
≝,r¶ Connect	LE-580FX MPT を LE-580FX デバイスに接続します。
▶ Start	テストを開始します。
😑 Stop	テストを中断します。
Exit	LE-580FX MPT を終了します。

テストの開始手順:

まず Dpen ボタンを押して、テストモデルを保存している ".ini" ファイルを開きます(もしく は新規にモデルを設定します)。 Start ボタンを押してテストを開始します。

#### 3.2.3 テストモデル名の設定

LE-580FX MPT では、実施するテストの設定を「モデル」として分類します。

テストは、このモデルを新たに作成するとところから始まります。

メインウィンドウの "Setting" メニューから、 "New Model" をクリックし、これから新しく作成する テストモデルに名前をつけます。

New Model	×		
Please Input Model Name:			
New_Model			
OK Cancel			

新しいモデルの名前を入力して、OKを押してください。

#### 3.2.4 タスクの設定

Configurations of Task	Configurations of Task
< <fw_10f>&gt;</fw_10f>	< <ping(a>B)&gt;&gt;</ping(a>
Frame Count :1000	Direction : A->B
Frame Gap :96 bit-times	Source IP :172.17.5.222
Frame Length : Random	Destination IP :172.17.5.26
J	J

"Configuration of Task" では、直近で実施したパケットテストの設定(サーバーのアドレス、パケット長、パケット数、パケットの送信間隔)やピングテストの設定(A・B ポートの送受信方向、 宛て先IPアドレス、送信元IPアドレス)が表示されます。

3.2.5 時間表示

Clock :16:59:14
Start :16:53:15
Finish :16:54:22
Total :00:01:07

"Time"では、現在時刻、テスト開始時刻、テスト終了時刻、テスト所要時間が表示されます。

#### 3.2.6 繰り返し回数

Iteratio	on Setting-
Total :	1
Loop :	1
Pass :	0
Fail :	1

"Iteration Setting"では、"Total"にテストの繰り返し総数を入力します。

"Loop" にテスト実行段階での繰り回数、"Pass" に合格回数、"Fail" に不合格回数が表示されます。

#### 3.2.7 メモ

HE-580FX MPT								
Setting View Help								
LINE EYE	Model Name New_Model	Time Clock :16:14:00 Start :16:08:22 Finish :16:13:52 Total :00:05:30	Iteration S       Total :     1       Loop :     1       Pass :     0       Fail :     1	etting C I	Open ->Diat ->Chec ->Stat ->St	le Pause Control king Link Status address learning Transmiting Packets Transmiting Packets Nediatype 10F le Pause Control king Link Status		
Frame Exceed     Frame Exceed     Frame Loss with Error     Frame Loss with Error     Frame Exceed with Error	Frame Count : 1000 Frame Gap : 95 bit-times Frame Length : Random	Start	O Stop	jaj	->Stat ->Setu ->Stop	address learning 5 Transmiting Packet Transmiting Packets Transmiting Packets	×	
Counter Window	Task Sta	at End	TimeUsed	Remark	Ports			
Port A Port B	FW_100F 16	08.22 16:08:51	00:00:28	Pass	Tasks	Port A	Port B	
Tx 1000 1000	FC_10F_100F 16	08.51 16.09.25	00.00.33	Fail,Link En		-	-	
By 1000 1000	BC_100F 16	09.25 16.09.53	00:00:28	Pass	V FW_100F	•	•	
Tx APP request 0 0	CRC_100F 16	09.53 16.10.26	00.00.33	Fail	- FO 405 4005			
T ADD I O	Ping(A->B) 16	10.26 16:11:06	00:00:40	Pass	FC_10F_100F	•	•	
TXAHP reply 0 0	Ping(B->A) 16	11:06 16:11:47	00:00:40	Pass				
TxICMP request 0 0	CRC_10F 16	11:47 16:12:15	00.00.28	Fail	A BCTION	<b>U</b>	•	
TxICMP reply 0 0	BC_10F 16	1215 16:12:45	00:00:29	Fail,Link En				
Rx ARP request 0 0	FT_100F 16	12.45 16.13.15	00.00.30	Fail	CHC_IUUF	-	•	
Bx ABP reply 0 0	FT_10F 16	13:15 16:13:45	00:00:30	Fail	E 05-00 - 00			
Bx ICMP request 0 0					(* ( (Q(n-)0)	-	-	
By ICMP reply 0 0					Real Real			
Py Payne 0 0					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	-	
CPC and 0 0					CBC 10F			
						-	-	
Di unksum entri U U					V BC_10F			
Alignment error 0 0						-	-	
Undersize 0 0					FT_100F	9	9	
Oversize 0 0							-	
Trigger 0 0					FT_10F	•	•	

メインウィンドウの右上にあるメモ表示枠は、実行しているテストがどのステップに入ったかを表示します。

#### 3.2.8 カウンター表示

tting ⊻iew <u>H</u>	IPT jelp										
LINE	ί€ľ		del Name Model	Clock	:16:14:00	Iteration Total :	Setting	⊖Disat →Chec →Stat	ale Pause Control king Link Status address learning		
Result Statu : Pass : Frame L : Frame E : Frame E : Error	s .oss xceed	< <ft Fram</ft 	figurations of T _10F>> e Count :1000	Finish Total	:161352 :00.0530	Loop: 1 Pass: 0 Fail: 1		C Reload Stop	<ul> <li>Transmiting Pack Transmiting Packe Diversity Packe Mediatype (10F) de Pause Control king Link Status address learning Diransmiting Pack.</li> </ul>	et ts ts	
<ul> <li>Frame L</li> <li>Frame E</li> </ul>	oss with Er xceed with	Fram Error	e Gap:96 bit-times e Length : Random		Start	O Stop		→Stat →Stop	Transmiting Packe Transmiting Packe	da da ₩	
Country Win	dow		Test	leur	10-4		1		1		
Contrat AAU	uon		1.858	Statt	Cho	TimeUsed	Remark	Ports	Devi A	Dentill	
Sounder win	PortA	Port B	FW_100F	16:08:22 16:09:51	16.08.51	00.00.28	Pass Fall late En	Tasks	Port A	Port B	
Edunter win	Port A	Port B 1000	FW_100F FC_10F_100F BC_100F	16:08:22 16:08:51 16:09:25	16.08.51 16.09.25 16.09.53	00.00.28 00.00.33 00.00.28	Pass FailLink Err Pass	Tasks	Port A	Port B	
ix ix	Port A 1000 1000	Port B 1000 1000	FW_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53	16.09.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26	00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.28 00.00.33	FailLink En FailLink En Fail	Tasks	Port A	Port B	
x lx xARP request	Port A 1000 0	Port 8 1000 1000 0	FW_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F Ping(A->B)	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26	16.09.55 16.09.55 16.09.53 16.10.26 16.11.06	00.00.29 00.00.33 00.00.29 00.00.33 00.00.33 00.00.40	Remark Pass Fail,Link Err Pass Fail Pass	Ports Tasks FV_100F FC_10F_100F	Port A	Port B	
x Ix xARP request xARP reply	Port A 1000 1000 0 0	Port B 1000 1000 0 0	FW_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F CRC_100F Ping(A->8) Ping(B->A)	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06	16:09:55 16:09:53 16:10:26 16:11:06 16:11:47	00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.40 00.00.40	Pass Fail,Link Em Pass Fail Pass Pass	Ports           Tasks           I▼ FW_100F           I▼ FC_10F_100F	Port A	Port B	
x XARP request XARP reply XICMP request	Port A 1000 0 0 0	Port B 1000 1000 0 0	FW_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F CRC_100F Ping(A->B) Ping(B->A) CRC_10F	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47	16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15	00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.40 00.00.40 00.00.28	Remark Pass Fail,Link En Pass Fail Pass Pass Fail	Ports Tasks V FW_100F V FC_10F_100F V BC_100F	Port A	Port B	
x XARP request XARP reply XICMP request XICMP reply	Port A 1000 1000 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0	FW_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F Ping(A→8) Ping(B→A) CRC_10F BC_10F	16.08.22 16.08.51 16.09.55 16.09.53 16.10.26 16.11.47 16.12.15	16:09:51 16:09:25 16:09:53 16:10:26 16:11:06 16:11:47 16:12:15 16:12:45	00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.33 00.00.40 00.00.40 00.00.40 00.00.28 00.00.29	Remark Pass FailLink Err Pass Fail Pass Fail FailLink Err	Ports           Tasks           IF FW_100F           IF FC_10F_100F           IF 8C_100F           IF CC 100F	Port A	Port B	
x x ARP request x ARP reply x ICMP request x ICMP reply Ix ARP request	Port A 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0	FW_100F           FW_100F           FC_10F_100F           BC_100F           DRC_100F           Ping(A > 8)           Ping(B > A)           ORC_10F           BC_10F           FT_100F	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.47 16.12.15 16.12.45	16:09:55 16:09:55 16:09:55 16:10:26 16:11:06 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15	00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.28 00.00.33 00.00.40 00.00.40 00.00.28 00.00.29 00.00.29	Remark Pass FailLink Err Pass Pass Fail FailLink Err FailLink Err	Ports           Tasks           IF FW_100F           IF FC_10F_100F           IF BC_100F           IF CRC_100F	Port A	Port B	
x X ARP request X ARP reply X ICMP request X ICMP reply X ARP request X ARP reply	Port A 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0	L39K           FW_100F           FC_10F_100F           BC_100F           CRC_100F           Ping(A~>8)           Ping(B~>A)           CRC_10F           BC_10F           FT_100F           FT_100F           FT_10F	1608.22 1608.51 1609.25 1609.53 1610.26 1611.06 1611.47 1612.15 1612.45 1613.15	16.08.51 16.09.25 16.09.25 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.12.45 16.13.15 16.13.45	0000.28 0000.28 0000.33 0000.28 0000.40 0000.40 0000.40 0000.28 0000.28 0000.28 0000.28	Remark Pass FailLink Err Pass Pass Fail Fail FailLink Err Fail Fail	Ports Tasks Fr PW_100F Fr FC_10F_100F Fr BC_100F Fr CRC_100F Fr CRC_100F Fr Ping(A->B)	Port A	Port B	
x XARP request x ARP request x ICMP request x ICMP request x ICMP repty Ix ARP repty x ICMP repty x ICMP request	Port A 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Post B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Ext_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F Ping(A→B) Ping(B→A) CRC_10F BC_10F FT_100F FT_10F	16.09.22 16.09.53 16.09.55 16.09.55 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.12.45 16.13.15	16:09:51 16:09:53 16:09:53 16:10:26 16:11:06 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15 16:13:45	0000.28 0000.28 0000.33 0000.28 0000.40 0000.40 0000.40 0000.28 0000.28 0000.28	Hemark Pass FailLink En Pass Fail Pass Fail FailLink En Fail	Tasks         Ports           I▼ FW_100F         I▼ FC_10F_100F           I▼ FC_10F_100F         I▼ BC_100F           I▼ CRC_100F         I▼ CRC_00F           I▼ Ping(A~>8)         I	Port A	Port B	
x ki x ARP request x ARP reply x ICMP request x ICMP reply ki ARP reply ki ARP reply ki ICMP reply	Port A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port 8 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	FW_100F           FC_10F_100F           BC_100F           BC_100F           Ping(A→8)           Ping(B→A)           ORC_10F           BC_10F           FT_100F           FT_10F	16:09:22 16:09:22 16:09:55 16:09:55 16:09:55 16:10:26 16:11:47 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15	16:09:51 16:09:53 16:09:53 16:10:26 16:11:06 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15 16:13:45	000028 000033 000028 000040 000040 000028 000029 000028 000029 000029 000029 000029 000029 000029 000030	Hemark Pass Fall_Link.Em Pass Fail Pass Fail Fail Fail Fail	Ports           Tasks           \vec{V}_100F           \vec{V}_FC_10F_100F           \vec{V}_FC_10F_100F           \vec{V}_FC_100F           \vec{V}_FC_10F           \vec{V}_FC_10F           \vec{V}_FC_10F           \vec{V}_FC_10F           \vec{V}_FC_10	Port A	Port B	
x x ARP request x ARP reply x ICMP request x ICMP reply ix ARP reply ix ARP reply ix ICMP request ix ICMP request ix ICMP request ix ICMP request	Port A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Post B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	FW_100F FC_10F_100F BC_100F CFLC_100F PinglA->8) PinglB->A) CFLC_10F BC_10F FT_100F FT_10F	16:09:22 16:09:22 16:09:53 16:09:53 16:10:26 16:11:47 16:12:45 16:12:45 16:13:15	160951 160955 160955 160953 161026 161106 161147 161215 161245 161315 161345	0:00:28 00:00:38 00:00:38 00:00:28 00:00:40 00:00:40 00:00:40 00:00:28 00:00:29 00:00:30	Hemark Pass FailLink Err Pass Pass Pass Fail Fail Fail	Ports           Tarks           IP	Port A	Port B O O O O O O O O O O O O O	
x x ARP request x ARP reply x ICMP request x CICMP reply ix ARP reply ix ARP reply ix ICMP reply	Pott A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Post B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000 100 FV_100F FC_10F_100F BC_100F ORC_100F Pingle>80 ORC_10F BC_10F FT_10F FT_10F	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.07 16.12.15 16.12.45 16.13.15	16:09:55 16:09:55 16:09:53 16:10:26 16:11:06 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15 16:13:45	0000.28 0000.33 0000.28 0000.33 0000.40 0000.40 0000.29 00.00.29 00.00.30 00.00.30	Hemark Pass PallLink En Pass Pass Pass Pass Pall Pall Fall Fall	Ports           Tarks           IF PW_100F           IF PC_10F_100F           IF RC_100F           IF RC_100F           IF Ping(A→8)           IF Ping(B→A)           IF CRC_10F	Port A O O O O O O O O O O O O O	Port B O O O O O O O O O O O O O	
Tx ARP request Tx ARP request Tx ICMP request Tx ICMP request Tx ICMP request Tx ICMP repty Tx ICMP repty Tx ICMP repty Tx ICMP repty Tx Pouse CRC enco	Port A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Post 8 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(30%, 100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F CRC_100F PmgB=>A1 CRC_10F BC_10F FT_100F FT_10F	16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.47 16.12.45 16.13.15	16:09:53 16:09:53 16:09:53 16:10:26 16:11:02 16:11:02 16:11:02 16:12:15 16:12:15 16:12:15 16:13:15	0000.28 0000.33 0000.28 0000.33 0000.40 0000.40 0000.29 0000.30	Hemark Pass FailLink En Pass Pass Pass Fail Fail Fail Fail Fail	Ports           Tasks           IP	Port A 9 9 9 9 9 9 9 9 9	Port B	
ix ARP request ix ARP request ix ICMP request ix ICMP request ix ARP reply ix ARP reply ix ICMP reply ix ICMP reply ix ICMP reply ix Rouse IRC error IC ChiCsum error liggment error	PortA 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port 8 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1974, 100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F ProgR=>A1 ProgR=>A1 CRC_10F BC_10F FT_10F FT_10F	16:08:22 16:08:22 16:09:25 16:09:25 16:09:25 16:10:26 16:11:06 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15	16:09:25 16:09:25 16:09:53 16:10:26 16:11:06 16:11:06 16:11:07 16:12:15 16:12:45 16:13:15 16:13:45	0000.28 0000.28 0000.33 0000.40 0000.40 0000.40 0000.29 00.00.30 00.00.30 00.00.30	Hemark Pass FollLink En Pass Foll Pass Foll Foll Foll	Ports           Tarks           IF PW_100F           IF PK_100F           IF RC_10F_100F           IF RC_100F           IF RC_100F           IF Phylex-80           IF Phylex-80           IF R0R=>A)           IF CRC_10F           IF R0R=>A)           IF CRC_10F           IF R0R=>A	Port A	Port B Constraints Constraint	
Example of the second s	PortA 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Post 8 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Total Content of Conte	16:08:22 16:08:22 16:08:25 16:09:25 16:09:25 16:01:026 16:11:47 16:11:47 16:12:15 16:13:15	16:09:53 16:09:53 16:09:53 16:10:26 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:45	0000.28 0000.28 0000.33 0000.23 0000.40 0000.40 0000.28 0000.23 0000.23	Hemark Pacs FollLink En Pacs Fol Pacs Fol Fol FolLink En Fol	Ports           Tasks           Tasks<	Port A	Post B	
Tx Tx ARP request Tx ARP request Tx ICMP request Tx ICMP request Tx ICMP request Rx ARP reply Rx ARP reply Rx ICMP request Rx ICMP reply Rx ICMP	PortA 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1000 FW_100F FC_10F_100F BC_100F Pringla-x81 Pringla-x	16:09:22 16:09:22 16:09:25 16:09:25 16:09:53 16:10:26 16:11:02 16:	160851 160925 160925 161026 161106 161147 161215 161245 161315 161345	1 metered 00.00.28 00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.30 00.00.40 00.00.40 00.00.28 00.00.29 00.00.30	Hemark Pass PalLink En Pass Pass Pass Pal Pass Pal Pal Fal Fal Fal	Parts           Tasks           IF	Port A	Pot B	

この表では、タスクの実行中に、送受信ポートのパケット数を表示します。エラーパケット数も 表示します。

#### 3.2.9 タスク表示

LE-580FX M											
tting ⊻iew <u>H</u>	elp										
esult Statur : Pass : Frane U	EY 		del Name (Model nfigurations of Tr T_10F>> are Count :1000	Time Clock Start Finish Total	:16:14:00 :16:08:22 :16:13:52 :00:05:30	Total: Total: Total: Total: Total: Total: Total: 1 Loop: 1 Pass: 0 Fail: 1	Setting	Open     ->Deal     ->Deal     ->Schec     ->Sebe     ->Schec     ->Sche	ble Pause Control sking Link Status address learning p Transmiting Pack Transmiting Pack p Mediatype g 10F ble Pause Control sking Link Status	ket ets ets	
) : Error ) : Frame L ) : Frame E	oss with E acced with	Fran Error	ne Gap:96 bit-limes ne Length : Random		Start	O Stop		->Stat ->Stat ->Stop	p Transmiting Pack Transmiting Pack Transmiting Pack	kel et: el:	
Counter Win	dow Part A	Port B	Task Fw 100F	Start	End 16.08.51	TimeUsed	Remark Pass	Ports	Post A	Port B	
Counter Win	daw Pat A	Port B	Task FW_100F FC_10F_100F	Stat 16.08.22 16.08.51	End 16.09.51 16.09.25	TimeUsed 00:00:28 00:00:33	Pernark Pess Fail,Link,Err	Tasks Ports	Post A	Port B	
ounter Win	Port A	Port B 1000	Task FW_100F FC_10F_100F BC_100F	Stat 16.08.22 16.08.51 16.09.25	End 16.08.51 16.09.25 16.09.53	TimeUsed 00.00.28 00.00.33 00.00.28	Remark Pess Fail,Link Es Pess	Tasks	Post A	Port B	
ounter Win	Port A 1000	Port B 1000 1000	Task FW_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F	Start 16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53	End 16.09.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26	TimeUsed 00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.28 00.00.33	Remark Pess Fail,Link Ex Pess Fail	Tasks	Port A	Port B	
ounter Win * * * ARP request	Port A 1000 1000 0	Port B 1000 1000	Task FW_100F FC_10F BC_100F CRC_100F CRC_100F Pring(A~>B)	Start 16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26	End 16.09.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06	TimeUsed 00.00.28 00.00.33 00.00.28 00.00.28 00.00.33 00.00.40	Remark Pass FailLink Ess Pass Fail Pass	Tasks PW_100F P FC_10F_100F	Port A	Part B	
ounter Win « « ARP request « ARP reply	Port A 1000 1000 0	Port B 1000 1000 0	Task FW_100F FC_10F_100F BC_100F Rrcgla→8 Pingla→8) Pingla→A)	Stat 16.08.22 16.09.55 16.09.55 16.09.55 16.10.26 16.11.05	End 16.09.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47	TimeUsed 00:00:28 00:00:33 00:00:28 00:00:33 00:00:40 00:00:40	Remark Pass Fail,Link Ess Pass Fail Pass Pass	Tasks	Port A	Part B	
ounter Win « « ARP request « ARP reply « ICMP reply	Dot A Port A 1000 0 0 0	Port B 1000 1000 0 0	Task FV_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F Pingla→8) Pingla→8) CRC_10F	Stat 16.08.22 16.08.51 18.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47	End 16.09.51 16.09.53 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15	TimeUced 00:00:28 00:00:33 00:00:33 00:00:33 00:00:40 00:00:40 00:00:28	Remark Pess FallLink En Pess Fall Pess Pass Fall	Tasks ↓ Pw_100F ↓ FC_10F_100F ↓ BC_100F	Port A	Part B	
x x x x x x x x x x x x x x	Dow Port A 1000 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0	Task FV_100F BC_100F CRC_100F CRC_100F PinglA->8) PinglB->A) CRC_10F BC_10F	Stat 16.08.22 16.08.51 16.09.55 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.07 16.12.15	End 16.09.51 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.12.45	TimeUsed 00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.33 00.00.40 00.00.40 00.00.40 00.00.40 00.00.28 00.00.29	Remark Poss FollLink En Poss Foll Poss Poss Foll FollLink En	Ports 7 FW_100F 7 FC_100F 8 FC_100F 7 BC_100F 7 BC_100F	Post A	Part B	
x x x x x ARP request x ARP reply x ARP request x ARP request	dow Port A 1000 0 0 0 0 0	Pert B 1000 0 0 0 0 0	Task FV_100F FC_10F_100F BC_100F CRC_100F Pingl8->A) CRC_10F BC_10F FT_100F FT_100F FT_100F	Stat 18.09.22 18.09.55 18.09.53 18.10.26 18.11.06 18.11.06 18.11.47 18.12.15 18.12.45 18.12.45	End 18.09.51 18.09.25 18.09.53 18.10.26 18.11.02 18.11.02 18.11.07 18.12.15 18.12.45 18.13.15 18.13.15	TineUsed 00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.33 00.00.40 00.00.40 00.00.40 00.00.28 00.00.28 00.00.29 00.00.29	Remark Poss Fallurk En Poss Fal Fals Fal Fallurk En Fal	Tasks         Ports           IF         Fw_100F           IF         Fw_100F           IF         Fc_10F_100F           IF         BC_100F           IF         BC_100F	Port A	Port B	
APP request APP request APP reply APP reply APP reply APP request APP reply APP request	Port A 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0	Task FW_100F FC_10F_100F BC_100F Progla>8) Progla>8) CRC_10F BC_10F BC_10F FT_100F FT_10F	Stat 16:08:22 16:09:25 16:09:25 16:09:25 16:09:25 16:09:25 16:09:25 16:10:26 16:11:47 16:12:15 16:12:45 16:13:15	End 16.09.25 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.47 16.12.15 16.12.45 16.13.15 16.13.45	TimeUced 00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.40 00.00.40 00.00.40 00.00.28 00.00.28 00.00.28 00.00.28 00.00.28 00.00.29 00.00.30	Remark Pass FalLink Em Pass Fal Fal Fal Fal Fal Fal Fal Fal	Ports           I → Pw_100F           I → Pw_100F           I → RC_100F           I → RC_100F           I → CRC_100F           I → Png(A~8)	Port A	Port B	
A APP request A APP reply APP reply APP reply APP reply APP reply APP reply APP reply APP reply	Dot A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task           FW_100F           FC_10F_100F           BC_100F           ORC_100F           Pingla⇒8)           Pingla⇒8)           Pingla⇒8,           BC_10F           FT_100F           FT_10F	Start 16.08.22 16.09.51 18.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.12.45 16.13.15	End 16.09.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.45 16.13.45	TimeUced 00:00:28 00:00:33 00:00:33 00:00:33 00:00:40 00:00:40 00:00:40 00:00:40 00:00:28 00:00:28 00:00:28	Remark Pass FalLink En Pass Fal Pass Fal Fal Fal Fal Fal Fal	Ports           Image: Pow_100F           Image	Post A	Port B	
counter Win × × × ARP reply × ICMP request × ARP reply × ARP reply × ICMP request × ARP reply × ICMP reply	dow Pot A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task PW_100F PC_10F_100F CRC_100F ProgB~-80 CRC_10F ProgB~-81 CRC_10F ProgB~-91 CRC_10F FT_100F FT_10F	Stat 16.08.22 16.08.61 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.12.45 16.13.15	End 16.09.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.47 16.12.45 16.13.45 16.13.45	TimeUsed 00:00:28 00:00:33 00:00:33 00:00:33 00:00:40 00:00:40 00:00:28 00:00:28 00:00:29 00:00:30	Remark Pass FalLink En Pass Pass Pass Fal Fal Fallink En Fal	Ports           IP Pw_100F           IP Rv_100F           IP Rc_100F           IP Rc_100F           IP Rc_100F           IP Rc_100F           IP Red_>A	Port A	Port B	
ounter Win « « ARP request « ARP request « ARP request « CMP request « ARP request » ICMP request	dow Pot A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task Pw_100F Pc_10F_100F BC_100F ProgR-x8 ProgR-	Stat 16.08.22 16.08.51 16.09.55 16.09.55 16.10.26 16.11.06 16.11.07 16.12.15 16.12.45 16.13.15	End 16.09.51 16.09.53 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.45 16.13.15 16.13.45	TimeUsed 00:00:28 00:00:33 00:00:33 00:00:40 00:00:40 00:00:28 00:00:29 00:00:30	Remark Poss Fal Link En Poss Fal Poss Fal Fal Fal Fal	Ports           □         Fw_100F           □         Fw_100F           □         Fw_100F           □         Fw_100F           □         Fw_100F           □         Fw_100F           □         Fwg(A \to 8)           □         Fwg(B \to A)           □         Fwg(B \to A)	Port A	Port B	
ounter Win « «APP request «APP request «APP request «CMP reply «CMP repl	Pot A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Pert B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task PM 100F FC_10E_100F BC_100F Progle-81 Progle-81 Progle-91 Pro	Stat 16/08/22 16/08/25 16/09/25 16/09/25 16/10/25 16/10/25 16/10/25 16/10/25 16/11/67 16/11/67 16/12/15	End 16.09.51 16.09.53 16.10.26 16.11.02 16.11.47 16.12.45 16.13.45	TimeUsed 00:00:28 00:00:33 00:00:33 00:00:33 00:00:40 00:00:33 00:00:40 00:00:28 00:00:30 00:00:30	Remark Pass FallLink En Pass Fall Pass Fall Fall Fall Fall	Ports           IF Pw_100F           IF Rc_10F_100F           IF Rc_10F_100F           IF Rc_10F_100F           IF Rc_10F	Port A	Port B	
e conter Win c APP reguest c APP reguest c COMP equest c COMP equest c COMP equest c COMP equest c APP reguest c COMP request c C C COMP request c C C COMP request c C C C COMP request c C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	Port A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port B 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task FW_100F FC_10F_100F BC_100F Progle-x81	Stat 16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.10.25 16.10.26 16.11.05 16.11.05 16.11.05 16.12.15 16.12.45 16.13.15	End 16.08.51 16.09.25 16.09.53 16.10.26 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.13.45	TimeUood 00,00,28 00,00,23 00,00,28 00,00,24 00,00,40 00,00,40 00,00,29 00,00,29 00,00,30	Remark Pess FalLink En Pess Fal Pess Fal Fal Fal Fal Fal Fal Fal Fal	Tasks         Ports           □         Fw_100F           □         F0_10F           □         F0_10F           □         F0_10F           □         CRC_10F           □         ProgB→Al           □         PR0B→Al           □         PRC_10F           □         PR0B→Al           □         PRC_10F	Port A	Port B	
s anter Win x ARP request x ARP reply x (DMP request x ARP reply x ARP reply x (DMP request x ARP reply x (DMP request x (DMP reply x (DMP request x (DMP reply x (DMP request x (DMP reply x (DMP request C (DMP reply x (DMP r	Dot A 1000 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port 8 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task PM 100F FC_105_100F GC_105 Prode-81 Prode-81 ORC_10F BC_10F FT_10F FT_10F	Stat 16.08.22 16.08.51 16.09.25 16.10.26 16.11.26 16.11.47 16.12.15 16.12.15 16.13.15	End 16.08.51 16.09.25 16.09.25 16.10.26 16.11.06 16.11.06 16.11.47 16.12.15 16.12.45 16.13.45	Tinelised 00.00.28 00.00.33 00.00.33 00.00.40 00.00.28 00.00.28 00.00.28 00.00.28 00.00.30	Remark Pass FalLink En Pass Fal Pass Pass Fal Fal Fal Fal Fal Fal	Ports         Port           IF         FW_100F           IF         FC_10F_100F           IF         FC_100F	Port A	Port B	
x ARP reguest x ICMP request x ICMP request x ICMP reguest x ICMP reguest reguest RC encor I CIN/Som encor Ignreed encor indensize	Cow Port A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port 8 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Tack PW_100F PC_105_100F PC105_100F Progle-x0 Progle-x0 PC_10F PC_10F PT_100F PT_10F	Stat 16.08.22 16.09.53 16.09.53 16.10.95 16.10.05 16.11.05 16.11.47 16.12.45 16.13.15	End 16.0051 16.0225 16.0253 16.0253 16.0263 16.11.026 16.11.47 16.12.15 16.13.15 16.13.45	Tinelised 0000.28 0000.33 0000.33 0000.40 0000.40 0000.28 0000.20 0000.30	Remark Poss FalLink En Poss Fal Poss Pass Fal Fal Fal	Tasks         Ports           \Trip N_{\text{10F}}         \Trip N_{\text{10F}}           \Trip R_{\text{10F}}         \Trip R_{\text{10F}}	Post A	Port B	
Sounter Win 's x APP request x APP request x APP request x CMP regul x CMP re	Dow Pot A 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Port 8 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Task PW_100F RC_106_100F CHC_106_100F CHC_106 Progle-x81 CHC_10F RC_116 RC_116 F1_10F	Stat 16.08.22 16.08.51 16.09.53 16.09.83 16.10.26 16.11.06 16.11.07 16.12.15 16.12.15 16.12.15	End 16.0251 16.0253 16.0253 16.1026 16.11.026 16.11.026 16.11.47 16.11.47 16.12.45 16.12.45	TineUsed 00.00,28 00.00,33 00.00,33 00.00,40 00.00,28 00.00,28 00.00,30	Bonak Poss Fallark En Poss Fal Pass Fal Fal Fal Fal Fal	Tasks         Ports           IF NV_100F         IF 02_10F_100F           IF 02_10F_100F         IF 02_10F_100F           IF 02_10F_100F         IF 02_00+30           IF 02_00+30         IF 02_00+30	Port A	Port B	

メインウィンドウの中下段に、テストに選んだタスクと、テスト前に行うテストパケットによるルー プ確認のためのタスク、その他付随的なタスクについて、開始時刻(Start)、終了時刻(End)、 テスト所要時間(Time Used)が表示され、「合格(Pass)」、「不合格(Fail)」「中止(Stopped)」 などテスト結果も表示されます(Remark)。

3.2.10 LED パネル

HE-580FX M	PT												
Setting View H	qle												
Posult Status Poss Poss Frane La Frane Status Enror Frane Ca Frane Ca	EY acced	ror From From From From	del Name Model 	Start : Finish Total	16:14:00 16:08:22 16:13:52 00:05:30	Tetal: Loop: 1 Paix: 0 Fail: 1	Setting	् ट डग	Dpen Reload Connect	->Dina ->Stat ->Stat ->Stat ->Stat ->Stat ->Stat ->Stat ->Stat ->Stat	ble Peure Control shing Link Statue address learning p Transmiting Pack Transmiting Pack Transmiting Pack p Modistype p 10F bling Link Statue address learning p Transmiting Pack Transmiting Pack	kat kat kat	
Counter Wine Tx Rx Tx ARP request Tx ICMP sequest Tx ICMP sequest Tx ICMP sequest Rx ARP request Rx ARP request Rx ARP request Rx ARP request Rx ICMP request Rx ICMP request Rx DATE request	Tow Pot A. 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Part 8 1000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Tash Fic.100F Fic.100F CRC_100F CRC_100F ProgR=>A) CRC_10F FI_10F FT_10F	Stat 16:08:22 16:09:25 16:09:25 16:09:25 16:10:26 16:11:06 16:11:06 16:11:06 16:11:06 16:12:15 16:12:15 16:12:15	End 16.08.51 16.09.53 16.10.26 16.11.47 16.12.15 16.12.45 18.13.15 16.13.45	Tinuticad 000028 00003 000028 000028 000028 000028 000028 000028 000028 000028 000028 000028 000028	Remark Pass Pollink En Pass Pass Pass Pass Pass Pass Pass Pas		Tasks           IF           IF	Ports 00F 100F 100F 100F 100F 10F 3F 3F	Pot A	Port 8	

メインウィンドウの右下段のLEDパネルは、タスクの全結果を表示します。

灰色:テスト選ばれていないタスク、もしくは未実行のタスク

緑色:パケットテスト合格

赤色:パケットテスト不合格

## 4. 機能設定

#### 4.1 テストモデルの新規設定

ツールバーから、「Setting」→「New Model」と選択してください。

新しいテストモデルの名前を入力して「OK」ボタンをクリックすると、以下のような画面が出て きます。

※テストモデル名の付いたフォルダが作成されるので、そこに設定ファイルを保存できます。

Setup configuration	n files of new modelmodel name: New_Model		🕌 Setup configur	ation files of new modelmodel r	name: New_Model 📃 🗖 🔀
Configuration Setup Environment Tasks Su Task description : Click on a task! Cher	ironment Setting gafais Setting effik: Frequent fiftik: Trans stomp v weck. Link Welt Time 3 ckk Result Wat Time 0		Configuration Setup Environment Tasks Task description : Dick on a task!	Task Setting Test Secanolos Test Secanolos	ected 4 FH AF Down Reset
				Trannik Media Type     Learning and Oth       Learning Setting     ✓ Enable Learning       Frame Count     100       Frame Count     100       Frame Gap     500       T x PHt Timeout     5       Hait on Error     0pr       Allow Frame Loss     0	er VLAN Sating Finable VLAN Tag Port A CoS Port B CoS Port A VID Port B VID Port B VID T
	Save Apply	Cancel			Save Apply

#### 4.1.1 テスト条件の設定 (Configuration Setup)

テスト条件設定(Configuration Setup)には、2つの項目があります。環境設定(Environment) とタスク設定(Tasks)です。

環境設定(Environment)では、ログファイルの設定など、タスクに付随的な条件を設定します。

これに対して、タスク設定(Tasks)はテストで実施する個々のタスクに直接関連する設定です。 タスク設定(Tasks)は、大きく2つに分かれます。設定画面の上半分は、用意されている 全テスト項目の一覧と、選択したタスクの一覧です。

設定画面の下半分は、3つのタブで構成されてます。

Transmit (送信時の条件)、Media Type (メディアタイプ)、Learning and Other (学習パケットとその他)です。

#### 4.1.2 タスク設定(Task Setting)

#### 4.1.2.1 テスト項目一覧(Test Senarios)



LE-580FX MPT に用意されているテスト(全 16 種類)は、このテスト項目一覧(Test Senario)から選択できます。「Test Senario」から実施したいテストをクリックして、 ジボ タンを押すと、実行するタスクを表示する「Task Selected」に追加されます。逆に「Task Selected」で <-- ボタンを押すと、「Task Selected」から削除されます。

#### 4.1.2.2 実行タスク(Task Selected)

Task Selected 4	
FW_10H	·
FW 100H	Up
FW_100F	
	Down
	Reset

"Task Selected #"の欄は、実行するテストを実行順に表示してます。テスト項目をクリックした後、 Up ボタンや Down ボタンを押すと、実行する順番を変更できます。 Reset ボタンを押すと、 選択したテスト項目が消去されます。

※他の項目も含めて設定の入力をすべて終えた段階で、 Apply ボタンを押して、設定を確定させます(設定を変えたら、その画面を切り替える前に必ず「Apply」ボタンをしてください)。
Save ボタンを押して設定を保存(\*.ini) すると、設定は完了です(メイン画面に戻るので、 ボタンを押して、.ini ファイルを読み込み、タスクを実行します)。

### 4.1.2.3 パケット送信(Transmit)

🚝 Setup configura	tion files of new	modelmo	del name: New_W	lodel 📃	
Configuration Setup	Task Setting				
Environment Tasks Task description : << Forwarding Test >> - Port A: 100 Half - Port B: 100 Half	Test Scenarios PW_10H PW_10F FW_100H FW_100F FC_100F FC_100F BC_100F BC_100F BC_100F BC_100F BC_100H BC_100F FT_10H		sk Selected 4 // 10H // 10F // 100H // 100F	Up Down Reset	
	Transmit edia Tu Frame Length Bytes without CRC Frame Data Frame Count Frame Gap	Random  Random	d Other Duration Test Running Timer Tx Pikt Timeout Transmit by V Enable X-Tr Enable Trigg Enable Paur	0FF   10 5 Sequence aller Check er e Control	
			Save	Apply Can	cel

パケット送信(Transmit)タブでは主に、送信するパケットの編集を行います。以下で詳しく解 説します。

Frame Length Bytes without CRC	Random 💌 Random Fixed	1
Bytes without CRC	60	,,, כ נ
Frame Data Frame Count Frame Gap	Random 0 0x55 0xAA 0x55AA 0x55AA 0x5A5A 0xFFFF 0x00FF Random	/ 2 2

Frame Count 10000

パケット長については2種類("Ramdom(ランダム長) 、"Fixed(固定長)")から選択できます。

"Fixed(固定長)" の場合、パケット長を決めます。 CRC 抜きで、60 ~ 1514 バイトの範囲で入力してくださ い。

パケットのデータ部のパターンは、8種類から選べます。 左のように、7 種類の固定パターンとランダムから選び ます。

パケットの送信をパケットの数で設定します。

Frame Gap	96
Describer Test	
Duration Test	ON
Tranning Timer	
Running Timer	10
Tx Pkt Timeout	5

フレーム間のビットタイムを入力してください。ビットタ イムは通信速度に対応したレートになります。

パケットの送信を送信時間の長さで設定します。 "ON"を選ぶと、パケットの送信時間を設定できます。 ※パケット数で設定する "Frame Count" は対照となる ので、どちらか一方だけが有効になります。

パケットの送信時間(秒)を設定します。

パケットの送信にかかる時間の上限(秒)を設定し ます。

- Transmit by Sequence
- Enable X-Trailer Check
- Enable Trigger
- Enable Pause Control

これら4つの追加機能は、送信するパケットに特定の機能を付け加えます。

"Transmit by Sequence" は、パケットを1つ1つ送信します。

"Enable X-Trailer Check" は、独自のパケットチェック方式によって、精度の高いパケットエラーの検出を行います。

"Enable Trigger" は、送信パケットにトリガー情報を与えます(カウンタの「Trigger」でカウント されます)。

"Enable Pause Control"は、フロー制御を許可します。

ボックスにチェックを入れると、各機能が有効になります。

#### 4.1.2.4 メディアタイプ (Media Type)

Setup configur	ation files of new modelmodel name: New_Model 🛛 🔲 🗖 🔀
Configuration Setup Environment	Task Setting Test Scenarios Task Selected 4
Task description : << Forwarding Test >> - Port A : 100 Half - Port B : 100 Half	Number         Num         Num         Num
	Transmit Media Type Learning and Other
	Change Media Type Nway 💌 Linkstatus Check 🔲 💌
	MediaType Wait 5
	LED Check Setting
	Enable LED Check Reminder
	Status Link Up
	Speed 10 Mbps
	Mode Hair Duplex Mode
	Save Apply Cancel

Change Media Type	Nway 💌
	OFF
MadiaTuna Wait	Nway
media i ype maic	Force

メディアタイプ切り替え (Change Media Type) では、オートネゴシエーション (Nway)、固定 (Force)、デフォルトの状態維持 (OFF) から選択します。

MediaType Wait	5
----------------	---

メディアタイプの切り替え時間(Mediatype Wait)を設定します(秒)。DUT(テスト対象機器) によって、メディアタイプの切り替えにかかる時間の長さが異なります。

Linkstatus Check	ON 💌
	OFF
	ON
	ON/Alarm

リンク状態のチェック(Linkstatus Check)について3種類から選びます。

「OFF」は、タスクの実行の前にリンク状態の確認を行いません。

「ON」は、リンク状態が正常なことを確認した後にタスクを実行します。

「ON/Alarm」は、リンク状態が正常なことを確認した後にタスクを実行する一方、リンク状態が 異常なときは警告が出ます。

Link Status Error!	×
Link Error: Port A,Linkdown!	
Continue	Stop

LED Chec	k Setting
🔲 Enable	e LED Check Reminder
Status	Link Up
Speed	10 Mbps
Mode	Half Duplex Mode
Note	Other Notes

LED チェック設定(LED Check Setting)では、「LED Check Reminder」にチェックを入れると、 4つのデフォルト設定が有効になります。LED 表示が正しいかどうかを確認するテストの前に毎回、ここに書かれたメッセージがウィンドウ表示されます。 4.1.2.4 学習パケット、その他(Learning and Other)

🕌 Setup configu	ration files of new modelmodel name: New_Model 🛛 🔲 🔲 🔀
Configuration Setup Environment Tasks Task description : << Ping Test >> Port A >DUT ->Port B	Task Setting           Test Scenarios         Task Selected 4           FT_100H         FW_10H           FT_100F         FW_10H           FU_100F         FW_10H           CRC_10H         FW_10H           CRC_10H         FW_10H           Prog (B→A)         FW_10H           Prog (B→A)         FW_10H           Prog (B→A)         FW_10H
	Transmit     Media Type     Learning and Other       Learning Setting     ✓       Image: Constraint of the setting     ✓       Frame Count     100       Frame Gap     500       Tx Pkt Timeout     5       Halt on Error     0FF       Allow Frame Loss     0
	Save Apply Cancel

学習パケット・その他(Learning and Other)タブでは、学習パケットとVLANタグの設定ができます。

Enable Learning				
Frame Count	100			
Frame Gap	500			
Tx Pkt Timeout	5			

学習パケットの設定(Learning Setting)では、タスク開始前に送受信される「学習パケット」 を設定します(パケット数(Frame Count)、送信間隔(Frame Gap)、送信時間の制限(Tx Pkt Timeout))。

Halt on Error	OFF 💌
Allow Frame Loss	OFF ON

エラー停止 (Halt on Error) は、エラー発生時にタスクを中止する (ON) か、そのまま実行する (O FF) かを設定します。

Allow Frame	Loss	0
-------------	------	---

パケット損失許容数 (Allow Frame Loss) は、タスク結果の合格判定時に、パケットの損失 (パケット数)をどのくらいまで許容するかを設定します。

VLAN Setting Enable VLAN Tag					
Port A CoS	1				
Port B CoS	1				
Port A VID	1				
Port B VID	1				

VLAN設定(VALN Setting)では、ボックスにチェックを入れると。A・Bポートそれぞれに対して CoS や VID を設定できます。

#### 4.1.3 ピングテスト(Task Ping)

Configuration Setup Task Setting
Environment Task         Test Scenarios         Task Selected 6           FT_10F FT_100H FT_100F CRC_10H CRC_10F CRC_10F CRC_10F CRC_10F PortA→DUT         FW_10H PW_100F PW_10F
Ping           Destination IP         172         177         5         .           Port A property         IP address         172         .         .           IP address         172         .         5         .         .           SubMask         255         .256         .         .         .         .           Gateway         172         .         .         .         .         .         .           Enable VLAN Tag         CoS         .         .         .         .         .         .           Ping number         4         Pass threshold         4         .         .         .
Zavo Cobh

ピングテストがタスクに入った場合、画面下半分がピング設定用に切り替わります。接続元と 接続先の組み合わせは「ポートA→ポートB」、「ポートB→ポートA」、「ポートA→DUT(スイッ チングハブやネットワーク機器)」、「ポートB→DUT」から選択できます。

#### 4.1.3.1 VLAN 設定(VLAN Setting)

🔽 Enable VLAN Tag			🔽 Enable VLAN Tag			
CoS 1	VID	1	CoS	1	VID	1

「Enable VLAN Tag」にチェックを入れると、各ポートのVLAN設定が有効になるので、ポートの値を入力できます。

#### 4.1.3.2 ポートのプロパティ (IP Addresses, SubMask and Gateway)

Port A property	Port B property
IP address 172 17 5 2	IP address 172 17 5 1
SubMask 255 255 254 0	SubMask 255 255 254 0
Gateway 172 17 5 .254	> Gateway 172 17 .5 .254

ポートAとポートBのIPアドレスを設定します。送信元の「Destination IP」は送信先の IP アドレスと同じです。

#### 4.1.4 環境設定(Environment Setting)

Setup configur	ation files of new modelmodel name: New_Model 💿 🔲 🔀
Configuration Setup Environment Tasks	Environment Setting Log File Setting Prefix Report Suffix Time stamp
Task description : << Ping Test >> Port A -> DUT	Check Link Wait Time 3 Check Result Wait Time 0
	Save Apply Cancel

環境設定(Environment setting)では、ログファイル設定(Log File Setting)の他、リンクチェッ クの制限時間(Check Link Wait Time)、テスト終了までのオフセット時間(Check Result Wait Time)の設定ができます。

Log File	Setting		
Prefix	Report		
Suffix	Time stamp 💌		
Check L	Time stamp Serial number Bar code		

「Prefix」では、ログファイル名の冒頭に入る文字(初期設定は「Report」)を設定します。 「Suffix」では、ログファイル名の冒頭に続く表記を選択します。

「Time stamp」は、セーブ時のタイムスタンプが入ります。

「Serial number」は、DUT のシリアル番号を入力できるものです。

「Bar code」は、DUT のバーコード番号を入力できるものです。

すべての設定を入力したら、「Apply」ボタンを押し、「Save」ボタンを押して、設定ファイル (.ini) を保存します。

その後は、メインメニューで設定ファイルを読み込み、「Start」を押せば、タスクが実行されます。

「Suffix」で「Serial number」を選んだ場合、タスクの開始時に入力を求めるウィンドウが開きます。 検査する機器の最初のシリアル番号を入力(0~9,999,999,999)して「OK」を押してください。 その後は、「Start」を押してタスクが完了する度に、ログファイル名のシリアル番号部分が自 動的に1ずつ増えていきます(再度、開始するシリアル番号を入力したいときは「Open」ボタ ンか「Reload」ボタンで設定を再度読み込んでから、「Start」ボタンを押してください)。

log file stamp	Serial number of DUT	X
DUT's Initial SN	٥	
	Note: The initial sequence number of DUT	
	ОК	

「Suffix」で「Bar code」を選んだ場合、タスクの開始時に入力を求めるウィンドウが開きます。 検査する機器のバーコード番号を入力して「OK」ボタンを押してください。

log file stamp	Barcode of DUT	
DUT's Bar code		
	Note:	
	The barcode of DUT	
	OK	

Check Link Wait Time

"Check Link Wait Time" では、ポートのリンク状態の確認を行っている間の待機時間(秒)を 設定します。

Check Result Wait Time 0

3

"Check Result Wait Time" では、タスク終了後の結果確認を行っている間の待機時間(秒)を 設定します。

※設定を変更した場合、 **C** Reload ボタンを押すまでは、新しい設定が反映されません。

名前を付けて保存					? 🛛
(保存する場所(]):	Dew_Model		•	+ 🗈 💣 📰	100
最近使ったファイル	iog Config.ini				
7,20F07					
रा हमा हो					
₹7 ⊐2ピュータ ©					
マイ ネットワーク	_				
	ファイル名( <u>N</u> ):	config.ini		•	保存( <u>S</u> )
	ファイルの種類(工):	ini files (*.ini)		•	キャンセル

新しいテストモデルを作成したら、フォルダにその設定を保存する(.ini)します。その後、設定を変更する度に、設定を保存しなおします。

## 4.2 テストモデル設定の読み込み

ファイルを開く			? 🛛
ファイルの場所(1):	🔁 New_Model 💌	+ 🗈 📸 📰	
ファイルの場所(D): 最近(使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイコンピュータ マイ		← È ☆ m·	
マイ ネットワーク	● リムーバブル ディスク(H) ● 共有ドキョメント		
	○ Minin Loor ○ Minin Documents 「マイネットワーク ファイルのY聖無(」):  ini files (*.ini)		開(( <u>0</u> ) キャンセル

🚰 Open ボタン

ボタンを押して、「\*.ini」

ファイルを開き、設定を読み込んでください。

## 4.3 テストモデル設定の変更

Modify configur	ration files of current modelmodel name: New_Model
Configuration Setup	Task Setting
Environment Tasks Task description : << Ping Test >> Port A ->DUT ->Port B	Test Scenarios     Task Selected 8       FT_10F     FV_100H       FT_100H     FV_100F       FT_100H     FV_100F       FC_10F     FV_100F       CRC_10H     FC_10F       CRC_10F     FC_10F       CRC_100F     FT_100F       Pring (8->A)     Fing (A->B)       Ping (A->DUT)     ▼
	Transmit   Media Type   Learning and Other
	Frame Length Random
	Bytes without CRC 60 Running Timer 10
	Frame Data Random 💌 Tx Pkt Timeout 5
	Frame Count 10000 🔽 Transmit by Sequence
	Frame Gap   1800 IV Enable X-Trailer Check
	I Enable Pause Control
	Save Apply Cancel

テストモデル設定を読み込んでから、メインメニューの「Setting」→「Modify Model」をクリッ クすると、そのテストモデルの設定を変更できます。現在行っているタスクの設定を変更したり、 過去に設定したテストモデルを設定変更したりできます。新しいテストモデルの作成時と同様、 テスト条件設定 (Configuration Setup) には、2つの項目があります。環境設定 (Environment) とタスク設定 (Tasks) です。

Hodify config	uration files of current modelmodel name: New_Model	
Configuration Setue Environment Taska Task description : C Ping Test 2 Port A -> DUT -> Port 2	Test Scenarios         Task Selected 8           FT_10F         FY_100F           FT_10F         FY_100F           FT_10F         FY_100F           FT_10F         FY_100F           FT_10F         FY_10F           FY_10F         FY_10F           FY10F         FY_10F	
	Transmit   Media Type   Learning and Other   Frame Length   Random ▼ Duration Test   ON ▼ Bytes without CRC 00 Running Timer   10 Frame Data Random ▼ Tx Fkt Timeout  5 Frame Count   10000 ♥ Transmit by Sequence Frame Gap   1800 ♥ Transmit by Sequence Frame Gap   1800 ♥ Enable X-Trailer Check ♥ Enable Pause Control	

タスクの設定には、テスト項目一覧「Test Senario」と選択したタスク一覧「Task Selected #」 があります。

#### 4.4 データの閲覧 (View)

<u>S</u> etting	<u>V</u> iew <u>H</u> elp
	Show Current <u>L</u> og
	Show Current <u>C</u> onfig
	Show Current <u>F</u> older
<b>S</b> I	Show LE-580FX Information

タスクが終了した後、テストの結果は、テストモデル のファルダ内に「log」フォルダが作成され、ログファ イルとして自動で保存されます。

「View」→「Show Current Log」とクリックすれば、 実行したタスクの結果がテキストデータで表示されま す。「概要(SUMMARY)」と「詳細(DETAIL)」で 構成されています。

「概要 (SUMMARY)」に表示される情報:

テストモデル名、LE-580FX MPT のバージョン番号、タスクの開始時刻、所要時間、終了時刻、 実行したタスクー覧

「詳細 (DETAIL)」に表示される情報:

実行したタスクー覧、所要時間、設定(パケット数、パケット送信間隔、パケット長、パケット 損失、フロー制御 / ピングの場合には、ピングコマンド実施・成功回数、ポートの送受信方向、 送信元IPアドレス、宛て先IPアドレス)、テスト結果(パフォーマンステストとリンク確認)、パケッ ト情報(A/Bポートごとに数値で表示:送受信パケット、ポーズパケット、CRCエラー、チェッ クサムエラー、アライメントエラー、アンダーサイズ、オーバーサイズ、トリガー、送受信要求、 ピング応答)

Model				
	: New_Model			
Dogmei	: v1.0.0			
Loop	: 1/1			
Time Start	: 10:20:00 24/07/2007			
Time End	: 10:21:32 24/07/20	97		
Time Used	: 00:01:32			
Total Iteration	1:1			
Pass	: 1			
Fail	: 0			
Task	Start	End	Time Used	Renark
FW 10H	10:20:00	10:20:23	00:00:23	Pass
FW 10F	10:20:23	10:20:46	00:00:22	Pass
FW 100H	10:20:46	10:21:09	00:00:23	Pass
FW 188F	18:21:09	10:21:32	00:00:22	Pass
===<< DETAIL >> ***************** Task Name Time Used	FW_10H 00:00:23	****	****	*****
===<< DETAIL >> Task Name Time Used Setting:	FW_10H 00:00:23		*****	******
	FW_10H 00:00:23		*****	
	FW_10H 00:00:23 1000	****	*****	*****
	FW_10H 00:00:23 1000 1800 bit-times andom			*****
	FW_10H 00:00:23 1000 1800 bit-times 1			*****
	FW_10H 00:00:23 1000 800 bit-times andom ) FF			
	FV_10H 00:00:23 1000 1800 bit-times 1andon 1 FFF			*****
	FV_100 00:0023 1000 1800 bit-times andom 1 FF			



"Show Current Config" では、LE-580FX MPT が現 在読み込んでいるテストモデルの設定ファイル (\*.ini) を開きます (テスト環境とタスクごとのパラメーターの 詳細が表示されます)。

```
[Environment]
ModelName=New_Model
LogName=Report
LogStamp=0
Num_Task=22
CheckLink_Wait=3
CheckResult_Wait=0
[Task1]
Task=Ping(A-->B)
Direction=1
Count=4
PassCount=4
ReplyTimeout=10000
A_DIP1=172
A_DIP2=17
A_DIP3=5
A_DIP4=1
A_SIP1=172
A_SIP2=17
A_SIP3=5
A_SIP3=5
A_SIP4=2
A_SUB1=255
A_SUB2=255
A_SUB3=254
A_SUB4=0
A_gate1=172
A gate2=17
```

<u>S</u> etting	<u>V</u> iew	<u>H</u> elp
	Sho	w Current <u>L</u> og
	Show Current Config	
	Show Current <u>F</u> older	
6	Sho	w LE-580FX Information

"Show Current Folder"では、現在読み込んでいる テストモデルのフォルダを開きます。フォルダ内に は、"log"フォルダがあります。テスト結果ログはそ こに保存されています。

"log" フォルダを開くと、ログファイルの一覧が表示されます。 ログファイルをクリックすると、デー タが表示されます。

Name 🛆	Size	Туре	Modified
Report2007_07_31_13_16_52_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 1:16 PM
🗒 Report2007_07_31_13_24_41_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 1:24 PM
🗒 Report2007_07_31_13_53_03_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 1:53 PM
🗒 Report2007_07_31_14_02_39_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 2:02 PM
🗒 Report2007_07_31_14_08_03_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 2:08 PM
Report2007_07_31_14_09_45_Pass	3 KB	Text Document	7/31/2007 2:09 PM
🗒 Report2007_07_31_14_18_53_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 2:18 PM
🗒 Report2007_07_31_14_27_25_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 2:27 PM
🗒 Report2007_07_31_14_31_02_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 2:31 PM
🗒 Report2007_07_31_14_33_48_Fail	4 KB	Text Document	7/31/2007 2:33 PM
🗒 Report2007_07_31_14_45_18_Fail	7 KB	Text Document	7/31/2007 2:45 PM
Report2007_07_31_14_47_28_Pass	3 KB	Text Document	7/31/2007 2:47 PM
🗒 Report2007_07_31_15_04_20_Fail	5 KB	Text Document	7/31/2007 3:04 PM
🗒 Report2007_07_31_15_06_22_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:06 PM
🖺 Report2007_07_31_15_07_04_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:07 PM
🖺 Report2007_07_31_15_07_30_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:07 PM
🖺 Report2007_07_31_15_08_03_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:08 PM
🖺 Report2007_07_31_15_12_51_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:12 PM
🗒 Report2007_07_31_15_18_57_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:18 PM
🖺 Report2007_07_31_15_26_13_Fail	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:26 PM
🗒 Report2007_07_31_15_28_08_Pass	3 KB	Text Document	7/31/2007 3:28 PM

タスクの結果は、ログファイル名の末尾に記載されます。

## 5. タスクの実行

設定を済ませた後、メインウィンドウの中心にある ▶ Start ボタンを押すと、テストモデルに盛り込まれているすべてのタスクを実行します。

すべてのタスクに合格した場合は、"Pass"とウィンドウ表示されます。



タスクの中で1つでも不合格があれば、"Fail"とウィンドウ表示されます。



## 株式会社 ラインアイ

 ●本社:〒601-8468 京都府京都市南区唐橋西平垣町39-1 丸福ビル5F tel:075(693)0161 fax:075(693)0163

● 技術センター:〒526-0065 滋賀県長浜市公園町8-49